

H27年12月25日

一般社団法人
コンクリートパイプ建設技術協会

この程、既製コンクリート杭工事の施工管理データに関する適正な取扱いを期すため、「既製コンクリート杭工法の施工管理要領(案)」を作成しました。

本要領の要旨については以下のとおりです。

1. 位置づけ及び作成方針

今般の施工管理データ流用問題に鑑み、協会においては、再発防止策を盛り込んだ「既製コンクリート杭工法の施工管理要領(案)(プレボーリング工法編)」を作成しました。

- (1) 当協会において、これまでに監修・発刊している施工管理要領等においては、施工管理データが計画どおりに取得できることを前提としていることから、データが取得できない事態を想定した対応及び再発防止策を規定した。
- (2) (一社)日本建設業連合会で策定されている指針(案)を踏まえ、既製コンクリート杭の施工に携わる管理者に対する要領(案)を作成した。
- (3) 全国の既製コンクリート杭施工実績では、プレボーリング工法が85%以上であることから、先行してプレボーリング工法版を発刊する。

2. 再発防止に関する主な記載内容

- (1) 施工体制とその責務について記載(内容については、日建連の指針(案)に準拠)。
- (2) 支持層出現深度の判定方法について詳しく記載。
- (3) 統合的な施工管理装置の使用を推奨。
- (4) アナログ式の記録計を用いる場合は、専用記録員を配置。
- (5) 施工記録の内容を強化(新たに施工管理チェックシートを策定。また、施工記録の写真撮影ポイントを明記)
- (6) 施工記録(施工管理チェックシート等)の即日提出を明記。
- (7) データが取れなかった時の対処方法を記載。
- (8) 倫理規定について記述。

今後、協会の会員各社に対して速やかに周知・徹底を図り、既製コンクリート杭工法の施工品質の確保・向上に努めて参ります。

2015.12.25 プレボーリング工法編最終版(案)

既製コンクリート杭工法の施工管理要領（案）

（プレボーリング工法編）

平成27年12月

一般社団法人コンクリートパイル建設技術協会

目 次

はじめに	1
1章 総則	2
1.1 適用範囲	2
1.2 施工体制と責務	3
1.3 用語の説明	6
1.4 施工計画書	9
1.5 工法の概要	13
2章 施工方法	15
2.1 施工順序	15
2.2 施工機械	17
2.3 使用材料	28
2.4 機械・材料チェックリスト	31
3章 事前準備	33
3.1 キャリブレーション	33
3.2 試掘	38
3.3 サイクルタイム	39
3.4 試験杭	45
4章 本杭の施工管理項目	50
4.1 施工順序と管理のポイント	50
4.2 施工管理装置	57
4.3 杭心セット・掘削精度	62
4.4 軸部掘削・掘削深度の確認	64
4.5 支持層（先端地盤）の確認	67
4.6 根固め部の築造	69
4.7 杭周部の築造	73
4.8 杭建込み及び沈設	75
4.9 施工記録	77
5章 資料	85
5.1 倫理規定（案）	86
5.2 各種施工管理装置の詳細	87
5.3 管理装置を用いない場合の管理方法	89
5.4 事前配合試験	91
5.5 未固結試料やコア採取による出来ばえの確認	93